

# 日特建設株式会社



<b>本店</b>			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6	TEL.03(5645)5050 (大代表) FAX.03(5645)5051	
<b>札幌支店</b>			
〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東4-2-20	TEL.011(801)3611(代) FAX.011(801)3633	旭川営業所 TEL.0166(48)3700 函館営業所 TEL.0138(35)7010 道東営業所 TEL.0155(24)5600
<b>東北支店</b>			
〒982-0036	仙台市太白区富沢南1-18-8	TEL.022(243)4439(代) FAX.022(243)4438	青森営業所 TEL.0177(73)7275 盛岡営業所 TEL.019(606)6120 三陸出張所 TEL.0193(27)8157 秋田営業所 TEL.018(863)3035 山形営業所 TEL.023(641)5988 福島営業所 TEL.024(536)1800
<b>東京支店</b>			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6	TEL.03(5645)5100(代) FAX.03(5645)5107	群馬営業所 TEL.027(253)2305 宇都宮営業所 TEL.028(637)3567 水戸営業所 TEL.029(246)2700 埼玉営業所 TEL.048(647)6981 千葉営業所 TEL.043(225)8023 横浜営業所 TEL.045(450)5553 長野営業所 TEL.026(228)6761
<b>北陸支店</b>			
〒950-0864	新潟市東区紫竹5-26-1	TEL.025(241)2234(代) FAX.025(241)2229	富山営業所 TEL.076(452)2766 金沢営業所 TEL.076(240)0111 福井営業所 TEL.0776(38)6499 佐渡営業所 TEL.0259(55)2332 上越営業所 TEL.025(544)4750
<b>名古屋支店</b>			
〒460-0008	名古屋市中区栄1-16-6	TEL.052(202)3211(代) FAX.052(202)3212	岐阜営業所 TEL.058(275)0206 静岡営業所 TEL.054(202)2090 三重営業所 TEL.059(225)6575
<b>大阪支店</b>			
〒541-0048	大阪市中央区瓦町2-2-7	TEL.06(6232)2109(代) FAX.06(6232)2108	京滋営業所 TEL.075(646)5890 神戸営業所 TEL.078(577)2570 奈良営業所 TEL.0747(22)5571 高松営業所 TEL.087(840)4151 松山営業所 TEL.089(946)0771 高知営業所 TEL.088(861)4171
<b>広島支店</b>			
〒730-0803	広島市中区広瀬北町3-11	TEL.082(231)2109(代) FAX.082(231)2310	鳥取営業所 TEL.0857(39)8050 松江営業所 TEL.0852(21)7317 岡山営業所 TEL.086(226)1429 山口営業所 TEL.083(925)4258
<b>九州支店</b>			
〒812-0027	福岡市博多区下川端町1-3	TEL.092(271)6461(代) FAX.092(271)6482	佐賀営業所 TEL.0952(37)6912 長崎営業所 TEL.0957(49)9320 熊本営業所 TEL.096(382)1639 大分営業所 TEL.097(552)4222 宮崎営業所 TEL.0985(23)1406 鹿児島営業所 TEL.099(227)0901 沖縄営業所 TEL.098(875)4400
<b>直轄グラウト部</b>			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6	TEL.03(5645)5111(代) FAX.03(5645)5112	
<b>海外事業部</b>			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6	TEL.03(5645)5055 FAX.03(5645)5056	
<b>ジャカルタ 駐在員事務所 (インドネシア共和国)</b>			
	GENERALI TOWER G.16/F GRAND RUBINA BUSINESS PARK at Rasuna Epicentrum Jl. HR Rasuna Said, Jakarta 12940, Indonesia	TEL.+62-21(2994)1582 FAX.+62-21(2994)1991	

## CSR報告書 NITTOC 2017



「守る」技術で、つながる、未来へ。



□ 問い合わせ先 □

日特建設株式会社 経営戦略本部

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-10-6

TEL 03-5645-5080 / FAX 03-5645-5083

ホームページ内「お問い合わせ」フォーム (<https://www.nittoc.co.jp/contact/index.html>) からの

お問い合わせが便利です。

ご意見、ご感想をお寄せください。当社の活動や報告書の改善に役立たせていただきます。

おかげさまで **70** 周年

**NITTOC** 日特建設株式会社

## もくじ

■ 社長メッセージ	2
■ 会社概要	3
■ 経営目標・経営理念・経営方針	4
■ コーポレート・ガバナンス	5
■ コンプライアンス	6
■ 人材育成・就労制度	7
■ 安全衛生活動・安全教育	11
■ 新工法紹介	12
■ 現場紹介	13
■ 海外事業	15
■ 環境活動	19
■ 社会貢献	21

### ■ 編集にあたって

対象期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

対象範囲：当社とグループ会社の活動

発行時期：平成 29 年 6 月



## 社長メッセージ

〇●〇

日特建設は、1947 年（昭和 22 年）の創立以来、今年で 70 周年を迎えます。ダム基礎を創業工種として産声を上げ、環境防災、維持補修、都市再生分野などの専門工事に特化した地質に強い会社として評価をいただいております。

節目となる今年度より新たな中期経営計画 2017(2017 年度 -2019 年度) をスタートさせます。現在、建設業に対するニーズは、かつてないスピードで変化し多様化しています。日特建設は、「信頼される技術力と施工力」をさらに磨きをかけ、これらのニーズに対応していきます。

当社の主な業務は、インフラの整備工事、防災工事、環境緑化工事など、国土の安全にかかわる工事等です。そのほか会社の使命には、コンプライアンス、社会貢献、環境活動、顧客満足・投資家満足・従業員満足の向上など、多くの事柄があります。これら社会のさまざまな要請や期待に応えること、つまりそれはCSR(企業の社会的責任)の履行を前提としています。企業に求められる使命や対象者は、工事の品質や安全管理やそれを提供するお客様だけではなく、工事の周辺にお住まいの方々や施工したインフラを使用させていただく方々など多岐に及びます。当社は、経営理念である「安全・安心な国土造りに貢献する会社」、「基礎工事における総合技術力と効率的な経営」、「信頼される技術力に培われた、環境・防災工事を主力とした基礎工事のエキスパート」を目指す建設業を営む会社として、社会的責任を果たしていく所存でございます。今後ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 永井 典久

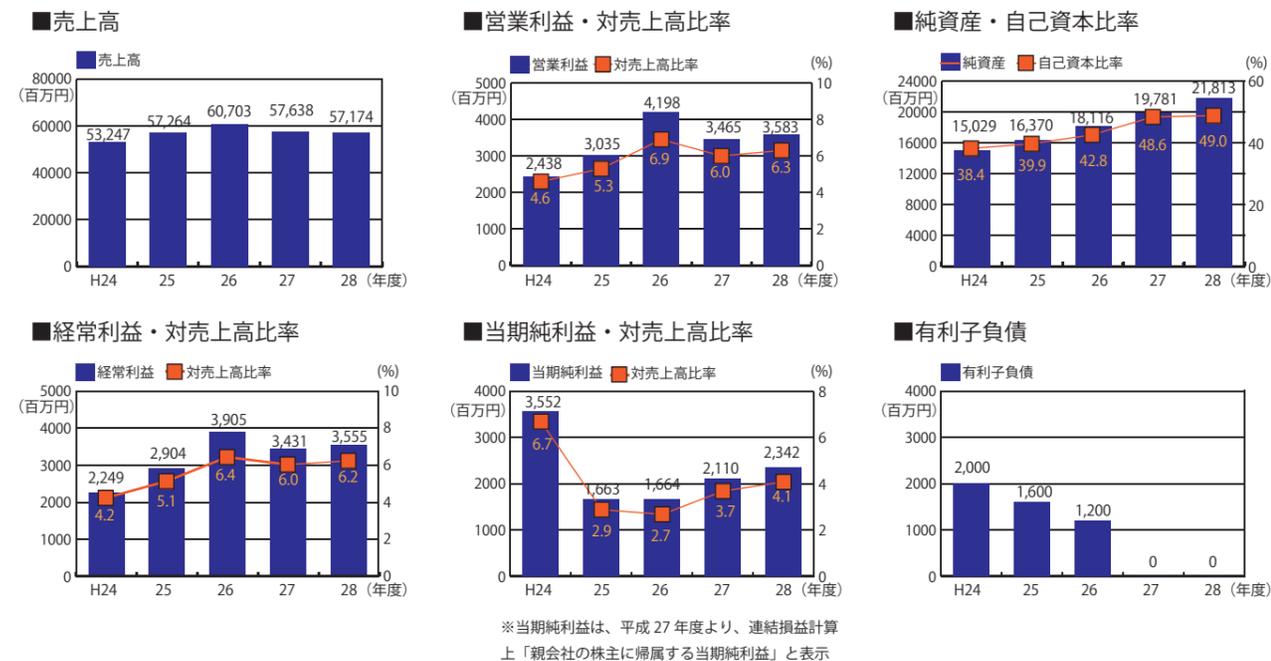
# 会社概要



## ● 会社概要 平成29年3月31日現在

■商号	日特建設株式会社 NITTOC CONSTRUCTION CO.,LTD	■許可	建設業許可 特定建設業 国土交通大臣(特-28)第211号
■本店	東京都中央区東日本橋3-10-6	■登録	建設コンサルタント登録 登録番号 建26第15号
■設立	昭和22年12月17日	■測量業者登録	登録番号 第(14)-435号
■資本	発行済株式総数 43,919千株 資本金 60億円 東京証券取引所 第一部上場	■地質調査業者登録	登録番号 質24第2号
■代表者	代表取締役社長 永井 典久	■免許	宅地建物取引業 東京都知事(2)第91766号
■社員数	建設事業 1,148名 (連結) その他の事業 12名 計 1,160名	■指定	土壤汚染調査機関指定業者 指定番号 環2003-8-1002
※社員数は、有期労働契約に基づく常用労働者327人を含めて掲載しております。		■事業所	本店/東京 支店/札幌・東北・東京・北陸・名古屋・ 大阪・広島・九州 直轄部/直轄グラウト部・海外事業部 海外駐在員事務所/ジャカルタ
■業績(連結)	売上高 572億円 経常利益 36億円		
■営業種目	総合建設業 ・土木・基礎 ・環境・地質コンサルタント		

## ● 業績(連結) 平成29年3月31日現在



# 経営目標



## ● 経営目標

2017年度からの3年間は、「我が国のインフラが新設から補修・更新に転換する新たな時代に向けた成長基盤を構築する期間」と位置づけ、下記の目標達成に向け全役職員一丸となり実行してまいります。

中期経営計画(3ケ年)の位置付け  
「Next Challenge」  
我が国のインフラが新設から補修・更新に転換する新たな時代に向けた成長基盤を構築する期間

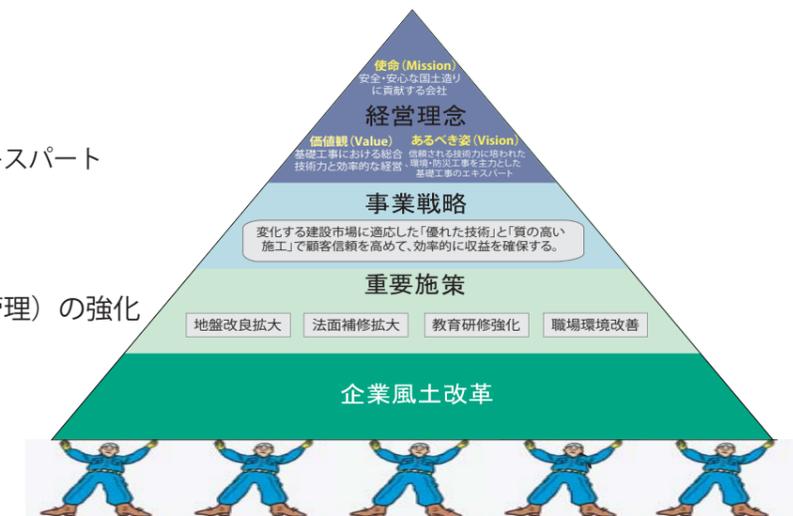
- 事業戦略  
変化する建設市場に適応した「優れた技術」と「質の高い施工」で顧客の信頼を高め、効率的に収益を確保する。
- 経営目標
  - 営業面の目標
    - 法面工事のトップを目指す(2016年度実績 業界2位)
    - 地盤改良工事 受注高の60%増加(2016年度比)
    - 法面補修工事の拡大
    - 海外工事の強化  
(2019年度までに完工高10億円を目指す。)
  - 業績面の目標
    - 営業利益30億円以上
    - 経常利益率5.0%以上
  - 財務面の目標
    - 自己資本比率50%以上確保  
(2016年度実績49.0%)
    - ROE9.0%以上の確保
    - キャッシュ・フロープラス以上の確保
  - 株主還元の目標
    - 配当性向30%以上かつ総還元性向50%以上  
※総還元性向(配当及び自己株式取得)

## 経営理念

- 使命 (Mission)  
安全・安心な国土造りに貢献する会社
- 価値観 (Value)  
基礎工事における総合技術力と効率的な経営
- あるべき姿 (Vision)  
信頼される技術力に培われた、  
環境・防災工事を主力とした基礎工事のエキスパート

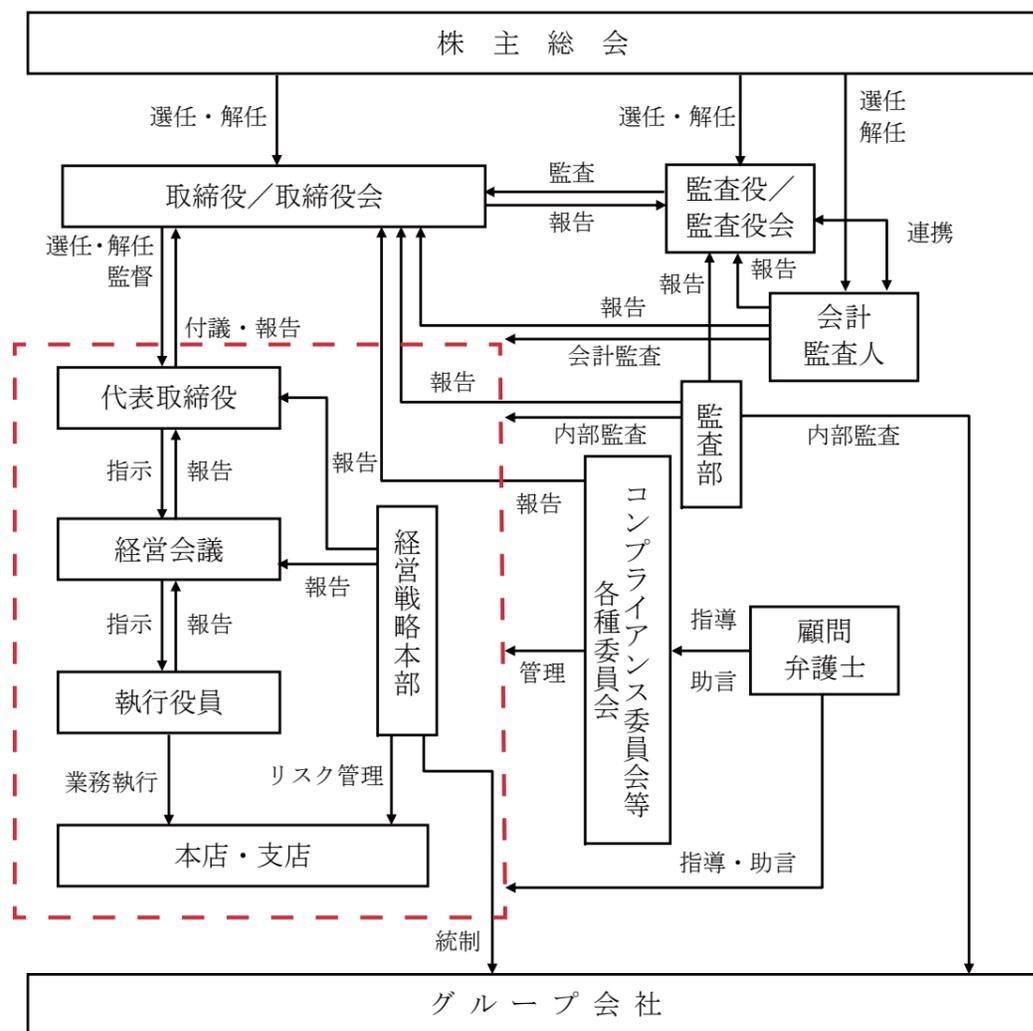
## 経営方針

- 内部統制(コンプライアンス、リスク管理)の強化
- 安全と職場環境を重視した経営
- 基礎工事の量の確保
- 収益性の維持
- キャッシュ・フロー重視の経営



## ● コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、企業活動を支えるすべてのステークホルダーの利益を重視し、かつ各種法規範のみならず、社内規範や社会の良識・常識をも遵守した企業倫理の重要性を認識するとともに、企業の継続的な発展と、社会的信用の獲得、また、反社会的集団に対する不当利益供与の根絶等、経営の透明性、健全性を高め、社会基盤の整備に貢献できる組織の構築をコーポレート・ガバナンスに関する基本的な方針としております。



日特建設では、コンプライアンスは重要な社会的責任であり企業存続の基盤であると考え、「行動規範 - コンプライアンス基本方針」に則り、法令や社内外のルールの遵守を徹底してまいります。そのためにコンプライアンス重視の業務体制の構築はもちろん、社員に対するコンプライアンス研修にも力を入れております。

## ● 行動規範 - コンプライアンス基本方針

私たちは、事業を営む者として企業の社会的責任を自覚し、法令や社内外のルールおよびその精神を遵守するとともに社会的良識をもって、以下の通り行動します。

- 1 私たちは、社是である「日々是進歩」、および社訓である「安全第一、信用確立、技術発展」を常に踏まえた企業活動を行い、経済や社会の発展に貢献します。
- 2 私たちは、法令や社内ルールを遵守するだけでなく、企業倫理に基づいた企業人として誇れる行動を通じて、社会からの信頼に応えるように努めます。
- 3 私たちは、「開かれた企業」として適時・適切に企業情報の提供を行なうとともにステークホルダーをはじめとする社会からの声に耳を傾け企業活動に反映させるように努めます。
- 4 私たちは、環境問題への取組は企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。
- 5 私たちは、地域で働く企業人として地域との融和に努め、地域活動にも自主的に参加し、地域社会に貢献できるように努めます。
- 6 私たちは、お客様の要望に誠実に応えるとともに、お客様の目線でものを考え、お客様本位の対応を行ないます。
- 7 私たちは、取引先と透明性の高い公正で健全な関係を築き上げ、相互の繁栄を考えた取引を行なうように努めます。
- 8 私たちは、誠実かつ健全な企業活動を継続することで、社会から信頼される企業となるよう努めます。
- 9 私たちは、従業員の人權を尊重し、個性を認め合い、十分なコミュニケーションを心掛けることで、安全で快適な職場を築きます。
- 10 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体には厳しく対処します。

## ● コンプライアンスの徹底、教育

### 1. コンプライアンスの徹底

行動規範を定め、各種会議で随時一人ひとりが確認し、コンプライアンス意識の向上を図っています。

### 2. コンプライアンス教育

#### (1) 研修会

当社では年間を通じて様々な会議で、コンプライアンス研修を行っております。

例：工事部長・工務課長研修、事務管理部課長研修、  
コンプライアンス・リスク管理推進責任者研修

#### (2) 社内報、e-ラーニングを通じた教育

毎月、社内報に様々な具体例を紹介したコンプライアンス講座を掲載しており、また e-ラーニングを用いて、定期的に教育を行い、社員一人ひとりのコンプライアンス意識や理解の向上を図っています。

## ● 教育制度 社員の可能性を引き出すため、階層ごとに教育制度を設けています。

私たちはこのコンセプトのもと、未来の夢のため、将来を見据えた教育制度を整えています。さらに社員一人ひとりの気持ちを大切に、個性を伸ばしていくことで、優れた専門性とさまざまなものごとに興味を持つ、多様性を併せ持った人物への成長を促していきます。

階層	研 修				外部派遣		技能資格
	階層別研修	カテゴリ共通研修	カテゴリ別研修		国内	海外	社内認定資格
本部長 副本部長 支店長 副支店長 事業部長 部長 次長・営業所長	支店長・ 事業部長 研修 営業所長研修	内部統制課題研修	作業所・工事管理・技術 施工指導	営業 事務管理	国内派遣	海外派遣	各種技能資格取得支援制度 社内認定資格制度
課長 工事長	工事長研修	各種職場内(COIT) ISO内部監査員養成研修 研修語学(英語) 海外視察研修 人事評価研修 コンプライアンス研修	技術士受験講習会 技術開発報告会 担当者会議(機材・安全技術) 工事部長・工事課長研修 工事別研修 地山点検トレーナー教育 法面・土委委員教育 資格取得者支援講習会	営業部長研修 営業所長研修 事務管理課長研修	国内派遣	海外派遣	各種技能資格取得支援制度 社内認定資格制度
課長補佐 上級主任 主任	4等級 昇格者研修 主任・ 若手研修		特別教育 地山の点検管理者教育 法面安全管理者教育	事務担当者実務研修			
係							
初任	新入社員 フォロー研修 新入社員 研修		施工開発 推進部 初任研修				

## ● 主な研修の様子

主な研修の様子をご紹介します。



新入社員研修



4等級昇格者研修



工事長研修



技術発表会

## ● 就労制度 ライフイベントに合わせ、様々な就労制度を設けています。

各種の就労制度を取り入れ、社員に働きやすい職場を目指しています。

例: 育児・介護休暇、休業、短時間勤務、自己啓発研修(LGAT)・ボランティア活動休暇等

### 育児休暇等取得社員の声



産休を取っても復帰する先輩がいなかった今から20年前に、産休・育休を取得して長男が11カ月になったときに復帰しました。当時の時短は1歳の誕生日まで。公立保育園は18時で閉まるため、いつでも猛ダッシュ。おかげで就業時間内に仕事をやりきる習慣が身につきました。昨年夏より部下が産休・育休を取得中。当時迷惑をかけた方々への恩返しのご気持ちで、彼女が復帰してきたらフォローしていきたいと思います。(※写真は成長した息子達3人です。)

事業本部 松浦直子

## ● 社内表彰制度 一人ひとりが輝く会社に

社内の活性化と社員のモチベーション向上を目指し、様々な表彰制度を設けています。

### 社長賞(瑞宝単光章)受賞社員の声



昭和54年4月に入社し38年の間、主に杭工事、地盤改良工事等に従事していましたが、私のような若輩者が、この度、はからずもこんな栄誉のある章を受章し、感激でいっぱいです。この章がいただけたのは、会社の大先輩である上司や、同僚の支えがあって頑張れたこと、家族の理解のもと仕事に従事できたことにつきるとしております。これからも何事にも情熱を持ち、教えを乞う姿勢を持ち続け、まだまだの気持ちを持ち続け、初心に戻り、精進していくつもりです。

施工開発推進部 小国裕品

## ● 資格取得支援 社員の資格取得のために、資格手当の支給など様々な支援をしています。

事業を行っていく上で必要な資格について、各種の支援を行っています。特に、現場代理人を務めるために必要な1級土木施工管理技士については、研修や論文添削なども行っています。また、技術士については、日建設技術士会が支援の中心となり支援を行っています。また、資格取得者には資格手当を支給し、取得へのモチベーションを高める働きをしています。

手当を支給する資格(取得一時金を含む)	
技術系	技術士、1級土木施工管理技士・2級土木施工管理技士(土木、薬液注入)、1級・2級建築施工管理技士、1級・2級建築士、1級・2級造園施工管理技士、1級・2級管工事施工管理技士、1級・2級建設機械施工技士、1級・2級電気工事施工管理技士、第1・第2・第3種電気主任技術者、第1種・第2種電気工事士、甲種・乙種火薬取扱保安責任者、測量士、測量士補、地質調査技士、基礎施工士、地すべり防止工事士、第1・第2種下水道技術検定合格者、推進工事技士、コンクリート診断士、VEリーダー、技能士(1級・2級さく井)、自動車整備士(1級・2級・3級)、甲種・乙種危険物取扱者、労働安全・衛生コンサルタント、公害防止管理者、公害防止主任管理者、グラウンドアンカー施工士、建築積算士、工事管理者(新幹線・在来線)、ジェットグラウト技士、のり面施工管理技術者、土壌汚染調査技術管理、水産工学技士(水産土木部門)、1級舗装施工管理技術者 シビルコンサルティングマネージャー(RCCM)
事務系	公認会計士、公認会計士補、税理士、弁理士、不動産鑑定士、不動産鑑定士補、宅地建物取引士、土地家屋調査士、1級・2級建設業経理士、システム監査技術者、ITストラテジスト(システムアナリスト)、システムアーキテクト(アプリケーションエンジニア)、プロジェクトマネージャ、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、ITサービスマネージャ、社会保険労務士、衛生管理者、応用情報技術者(第1種情報処理技術者・ソフトウェア開発技術者)、3級建設業経理事務士、基本情報技術者(第2種情報処理技術者)、ITパスポート(初級システムアドミニストレーター)、1級簿記検定

## ● 働きやすい職場環境 働きやすい職場環境の整備を進めています。

日特建設では、社員の働きやすい職場作りを行っています。その中で、残業時間の抑制・労働時間の短縮や、有給休暇の取得促進、男女共に働きやすい職場の構築を進めています。

### ■ 女性が働きやすい職場環境作りのための研修会

5月には、工事長研修の中で、女性の外部講師を招き、「女性の活用・掌握術」についての研修を行いました。



## ● 研修施設の建設

日特建設では、研修や技術開発とともに人材育成の拠点となる施設を建設し、この施設を活用し、社員の育成を進めていきます。平成30年9月完成予定です。

### 1. 新設の理由

(仮称) 蓮田総合センターは、中期経営計画2017(2017年度～2019年度)のテーマである技術開発と人材育成の拠点となる施設として建設いたします。建物は現在、自社が保有する蓮田寮を改築し、新たに研究開発室や来客用ギャラリー、研修生などが入居する寮を備えるとともに、本社のバックアップオフィス、埼玉の営業拠点(埼玉営業所)の機能も有する施設とします。この施設を活用し、集中的で効率的な技術開発と人材育成の新たな強化を進めてまいります。



### 2. 施設の概要

- (1) 名 称: 日特建設株式会社  
(仮称) 蓮田総合センター
- (2) 所在地: 埼玉県蓮田市
- (3) 有効敷地面積: 約3,000㎡
- (4) 総投資額: 約16億円(土地を含む)

### 3. 設備機能

- (1) 研究開発棟
- (2) 階層別研修室
- (3) 埼玉営業所事務所
- (4) 施工指導課の所属員寮
- (5) 研修対象者の宿泊施設
- (6) 震災時の本店・東京支店のバックアップオフィス

## ● コミュニケーション活動 社員同士のオフタイム活動を支援しています。

当社の社員会では、社員同士の様々なコミュニケーション活動(通称「コミ活」)に対して、活動費補助を行っています。仕事上の関係だけではない、豊かな人間関係づくりを推進しています。



### ■ 全国ボウリング大会開催

当社では、社員のレクリエーション活動支援として、本店各支店で毎年ボウリング大会を開催しています。ストライクやスペアを取った時には歓喜の声が、ガーターでは失意の声があがる、にぎやかな大会となりました。ボウリング大会の後には、懇親会を開催し、食事をしながら楽しく過ごしました。後日、成績によって、賞品も授与されています。

当社では、このようなレクリエーション活動を今後も支援していきます。



### ■ ゴルフ大会 各地で開催

全国のゴルフ愛好家の有志たちは、ゴルフ大会を開催しています。4月には北陸支店で23名、5月には札幌支店で13名、名古屋支店では、5月に15名、8月には12名の参加によりゴルフ大会が開催されました。

下期には10月に北陸支店で4名、11月には本店16名、東京支店9名、12月には北陸支店で4名、1月には本店管理本部で4名、また3月には本店技術本部で8名の参加によりゴルフ大会が開催されています。

このように、各支店・本店各本部で活発にゴルフ大会が開催されています。



### ■ 各地のマラソン大会に参加

毎年、各支店の有志が、各地域のマラソン大会や駅伝大会などに参加しています。

本年度も、5月には名古屋支店で12名が参加、本店の技術本部では6名が参加、3月には大阪支店で7名が参加するなど、日本全国各地の大会に活発に参加しています。

また海外でも、5月にインドネシア共和国で開催されたジャカルタ「絆」駅伝に、現地駐在員事務所等の社員12名が、参加しています。



### ■ フットサル大会開催

東北支店では、毎年有志たちが定期的に集まり、「フットサル愛好会FC NITTOC」と名付けたフットサル大会を開催しています。

新入社員からベテラン社員まで、ひとつのボールをめぐる、蹴ったり、追いかけたりと、皆で試合を楽しんでいます。ベテラン社員は途中交代する人もいますが、ほとんどの選手が交代もせず一心不乱にボールを追いかけます。汗を一杯かき、日ごろの業務を忘れ爽快な気分です。リフレッシュしています。

# 安全衛生活動・安全教育



## ●安全・衛生への配慮 誰もが安全に安心して働ける職場環境の整備を進めています。

日特建設は、協力業者を含めた安心して働ける職場環境を整備することも企業の重要な責務であると認識し、安全・衛生環境の整備と教育に力を入れています。

### ■安全衛生管理活動の整備と安全パトロール

#### 1. 安全衛生管理活動基本計画、安全衛生推進大会

日特建設では、本店の安全環境品質本部で安全に関する基本計画を立て、その計画に則り、各支店の安全環境品質部が、現場代理人に安全活動の指導を行います。また、年に一度、安全衛生推進大会を開き、安全活動に優秀な協力業者を表彰しています。

#### 2. 安全パトロールの実施

日特建設では、本店の安全環境品質本部 主導のもと、各支店の安全環境品質部により各現場の安全パトロールを行っています。土木工事の現場ごとに環境、状況はそれぞれ異なります。その現場の安全管理の状況を、現場代理人だけでなく、本店や幹部の視点からもチェックすることで、事故を発生させない安全な現場・職場環境を目指します。



安全衛生推進大会



安全パトロール

### ■安全教育の実施

当社では、社員や協力業者社員が業務において事故やけがをしないように、安全活動に必要な様々な教育を実施しています。新入社員には、入社時に必要な教育を行います。また、法面工事や地盤工事など工事によって変わる様々な安全教育を行っております。

#### 1. 新入社員安全教育

当社では毎年4月、新入社員の入社時に安全教育を行っています。法面実習などを実際に体験してもらい、危険な行為を防ぐ方法などを学んでもらいます。

#### 2. 特別教育研修

当社では随時、地山点検管理者トレーナー研修を行っています。これは、地山崩壊の兆候を発見し、災害を未然に防ぐ地山点検管理者を養成するための研修です。



地山点検管理者トレーナー研修



特別教育(ロープ高所作業)

# 新工法紹介



## ●日特建設の新たに開発した工法 当社では時代のニーズに合わせた新技術・工法の開発を随時行っています。

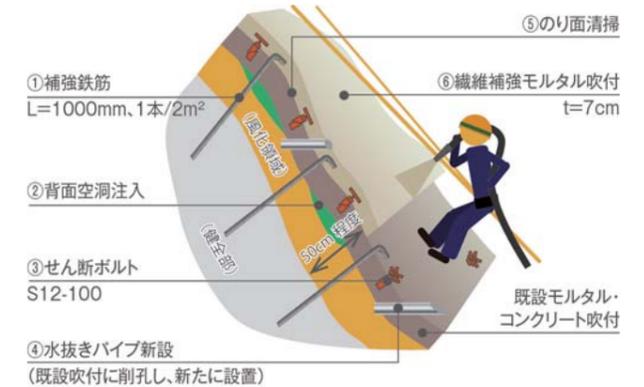
斜面・法面对策などの環境防災技術、既設構造物の維持補修技術、地盤改良・薬液注入といった都市再生技術など、数多くの経験と実績により裏打ちされた技術とノウハウで、安心・安全な国土造りに貢献できるよう今後も取り組んでまいります。

### 老朽化した吹付のり面の補修・補強工法

#### 「ニューレスプ工法」

ニューレスプ工法は、既設吹付のり面の機能が喪失する前に、老朽化したコンクリート(モルタル)などをはつきり取り除くことなく補修・補強することにより、のり面保護効果を高めるのり面再生技術です。

- 老朽化した吹付コンクリート面のはつきり作業がなく、施工の安全性が向上
- はつきり取らないので産業廃棄物の発生を抑制
- 汎用吹付機械(湿式)で安定した吹き付けが可能
- 補強鉄筋工や高品質の繊維補強モルタル吹付工により、耐久性の優れたのり面を再生



#### 「第18回 国土技術開発賞「創意開発技術賞」受賞

ニューレスプ工法が「吹付けモルタル・コンクリートのり面の補修・補強工法」として「第18回 国土技術開発賞『創意開発技術賞』」を受賞し、平成28年7月26日に国土交通大臣より表彰を受けました。



#### 国土技術開発賞とは

「国土技術開発賞」は、建設産業におけるハードな技術のみならず、ソフトな技術も含めた広範な新技術を対象として表彰するものであり、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として行うものです。「創意開発技術賞」とは、中小建設業者、専門工事業業者が独自に開発した技術の中から、創意工夫やアイデアを展開・発展させて開発した技術を表彰対象とする国土技術開発賞の特別賞です。

#### 【実施主体】

- 主催：(一財) 国土技術研究センター  
 (一財) 沿岸技術研究センター  
 後援：国土交通省  
 共催：(一財) 日本建設情報総合センター  
 (一財) 先端建設技術センター  
 (一財) 港湾空港総合技術センター

# 現場紹介



当社は、「環境防災」「維持補修」「都市再生」の分野で、社会ニーズに応える新技術を生み出し、安心・安全で豊かな社会づくりに貢献しています。そして、私たちにできる仕事をしっかりと着実にすることも、震災復興及び防災・減災への貢献になると考えています。

## ● 東日本大震災 復旧復興への取組み

### ■ 登米志津川法面工事(宮城県登米市)

東日本大震災の復興道路に位置付けされている三陸沿岸道路(三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道)の法面工事を施工しました。当社が施工を担当した区間は登米志津川道路の(三滝堂IC~志津川IC間)です。工事は法面を吹付法砕工で施工し、法面の安定化を図りました。

[発注者:東北地方整備局仙山河川国道事務所 概要:吹付法砕工]



施工前



完成後

## ● 災害復旧工事

### ■ 帯広管内災害復旧(その13)工事(北海道帯広市)

2016年8月、帯広市内を通る道東自動車道の法面が台風による大雨の影響で崩壊しました。そのためこの道東自動車道は一時通行止めとなっていました。道央圏へと通じる唯一の道路交通網であったため、復旧が急がれていました。そこで応急復旧対策とともに、冬季の融雪水浸透により再崩壊を防止する越冬対策も含め、金網張り工及びモルタル吹付工を実施し、法面の安定化を図りました。

[発注者:東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広管理事務所 概要:金網敷設工、モルタル吹付工]



施工前



完成後

## ● 災害復旧工事

### ■ 大金沢特定緊急砂防工事(山腹工その7)(東京都大島町)

2013年10月に日本列島に接近、上陸した大型で勢力の強い台風26号は、日本各地に大きな被害を出しました。中でも大島町(伊豆大島)西部では、三原山の外輪山中腹において、幅約1km近くにもわたり崩落が起き、土石流が発生しました。このため緊急砂防工事が行われ、その工事の中で当社はノンフレーム工等を担当し、さらなる斜面崩壊の防止および法面の安定化を図りました。

[発注者:東京都財務局大島支庁 概要:ノンフレーム工法]



施工前



完成後

## ● 防災・耐震工事

### ■ 大原漁港施設強化(-5.0m岸壁耐震化)工事(千葉県いすみ市)

東日本大震災などの過去の大きな地震の際は、係留施設や護岸が被災し、地震動によっておきた液状化現象により、港湾が沈下し、荷役に支障がでるなどの甚大な被害が発生しました。そのため岸壁の耐震補強工事の重要性は増えています。千葉県いすみ市にある大原漁港では地震に備え、既存岸壁のさらなる耐震化を図るため、アンカーによる補強工事を行いました。

[発注者:千葉県南部漁港事務所 概要:アンカー工]



施工中



施工中

## ● 海外展開について

インドネシア共和国は人口2.4億人を抱え、高い経済成長を続けています。しかし、交通渋滞が常態化するなど、インフラについてはいまだ未整備の状態です。

そこで当社では成長戦略の一環として、高い成長を続けるインドネシアのインフラ工事の獲得を目指していきます。またインドネシアだけにとどまらず、成長する東南アジア地域のインフラ工事の獲得も目指します。

### ■ インドネシアに子会社を設立

当社は、2012年9月にジャカルタに駐在員事務所を設け、現地法人設立の調査などを続けていました。そしてPT PANCA DUTA PRAKARSA との間で、インドネシア共和国国内における建設事業を行う合併会社を設立することを決議し、2015年10月に、日特建設株式会社及びPT PANCA DUTA PRAKARSAとの合併契約を締結しました。そしてPT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAを設立し、2016年4月より営業を開始しています。

当社は、設立した連結子会社PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAにおいて、インドネシア共和国国内のインフラに関するのり面、地盤改良などの専門工事の獲得に向けた受注活動を行ってまいります。

#### 合併会社の概要

- (1) 商号：PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA
- (2) 代表者：屋宮 康信
- (3) 所在地：インドネシア共和国 南ジャカルタ市
- (4) 営業開始年月：2016年4月
- (5) 事業の内容：インドネシア共和国国内における建設事業
- (6) 決算期：3月期
- (7) 資本金：51,000百万インドネシアルピア(約428百万円)  
※インドネシアルピア=0.0084円で計算しております。
- (8) 株主構成：日特建設(株):65%、PT PANCA DUTA PRAKARSA:35%

新オフィスへ移転  
2017年5月に新しいオフィスに引っ越しをしました。  
新住所：  
GENERALI TOWER G, 16/F  
GRAND RUBINA BUSINESS PARK  
at Rasuna Epicentrum  
Jl. HR Rasuna Said, Jakarta 12940, Indonesia  
Tel. (021) 2994 1582 ; (021) 2994 1583  
Fax. (021) 2994 1991

PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA ホームページ  
<http://www.nittoc-id.co.id/>



新しいオフィスが入居しているビル  
GENERALI TOWER

日特建設(株)ジャカルタ駐在委員事務所スタッフと  
PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAのスタッフ



社員が皆で頑張り、チームワークを高めるために、レクリエーション活動で、勢ぞろい。2017年3月 ジャカルタのアンチョールにて  
※コミュニケーション活動については、P.16参照ください。

## ● 業務について

インドネシアには進出してまだ日が浅く、様々なところで当社をアピールすることが必要となります。また海外工事は、日本とは様々な条件や慣習、ルールの違いがあります。それらを学んだり、母国語が異なるスタッフとの意思疎通を図るため、ミーティングなどにも力を入れています。



▲ミーティングの様子

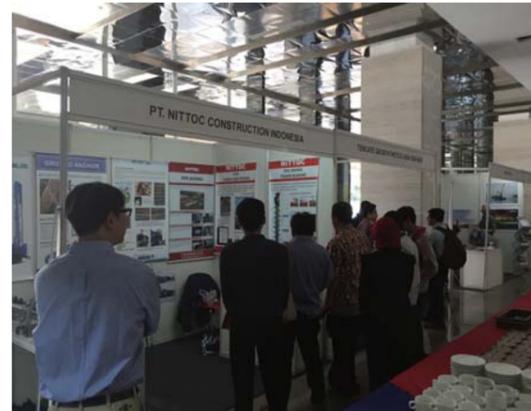
### ■ 定期的なミーティングの開催

ジャカルタ事務所では、毎朝のミーティングで担当業務の予定を確認しています。

またウィークリーミーティングでは、毎週の予定や、工事の進捗状況の確認と問題点など話し合っています。これにより、業務の進捗や状況を共有して、業務を進めています。

### ■ インドネシア地盤工学会への出展他

2016年11月に行われたインドネシア地盤工学会に技術展示ブースを出展しました。また、その学会で、「地質調査技術における基準づくり」のために協力することに合意し、日特建設他の2社・2団体との間で覚書調印を行いました。



▲地盤工学会に出展したブースの様子



▲地質調査技術における基準づくり調印式の様子

## ● コミュニケーション活動について

レクリエーション活動を活発に行い、コミュニケーションを図っています。2016年9月にはインドネシアの社員とその家族達と休日にバスで日帰り旅行に行きました。場所は、標高300mにある清流に面したリゾート施設で、楽しい時間を過ごしました。



## 海外工事紹介

インドネシア共和国では、駐在員事務所開設から、子会社設立を経て、着実に施工実績を積み重ねています。インドネシアで手掛けた工事をご紹介します。



### ■ バリクパパン 蒸気発電所工事 Balikpapan Project Steam Power Plant Project

この工事は、ボルネオ島東岸にある東カリマンタン州にある国営電力会社による地熱の蒸気を活用した発電所の工事です。当社は法面の吹き付け工事を担当しました。

発注者: PT. PLN Indonesia (国営電力会社)  
注文者: PT. Adhi Karya (Persero)  
工事内容: モルタル吹付工 16.370m<sup>2</sup>  
工事期間: 2016年6月~12月

### ■ バタン 石炭火力発電所工事Batang Project Site Coal fired Power Plant Construction.

この工事は、インドネシア中部ジャワ州バタンにあるアジア最大級の火力発電所の工事です。当社は、パワーブレンダー工法(地盤改良)により、機密壁の構築工事を担当しました。

発注者: ビマセナ・パワーインドネシア社  
(電源開発(株)アタロ・パワー社、伊藤忠商事(株)が設立した現地法人)  
注文者: Wkachiku-Putra JO  
工事内容: 地盤改良工事  
(パワーブレンダー工法) 3,000m<sup>3</sup>  
工事期間: 2017年 2月~4月



### ■ バンガイ アンモニア工場 Banggai Ammonia Plant Project belong PT. Panca Amara Utama

この工事は、スラウェシ島東部にあるバンガイ諸島に建設するアンモニア精製工場の工事です。当社は、冷却用海水貯蔵ピット築造に伴う土留めアンカー工事を担当しました。

発注者: PT Panca Amara Utama  
注文者: PT. Rekayasa Industri  
工事内容: 仮設グラウンドアンカー工  
136ポイント 5784.4m  
工事期間: 2016年2月~10月



### ■ ジンバラン グリーンヒルリゾート工事 Jimbaran Greenhill Resort Jimbaran Project

この工事は、バリ島にあるジンバラン (Jimbaran) のリゾートホテル開発工事です。当社は法面からの表土流失防止工事を担当しました。

発注者: PT Jimbaran Greenhill  
工事内容: ソイルネイリング工法、吹付工  
工事期間: 2016年10月~12月



## グローバル社員の紹介

海外研修や語学研修、海外工事現場への出向、インドネシア人等の外国人技術者の教育を通じ、国際社会への対応を図っています。当社に勤務するグローバル社員のご紹介です。



2014年4月に私は入社しました。私は、PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAが採用した最初のインドネシア人社員のひとりです。私は以前、インドネシアの日系企業で働いていました。そこでは工事施工を担当し、推進工事と薬液注入の工事を手掛けました。その工事の終了後、誘いを受けて当社へ入社しました。

入社した年の12月には、日本へ行き、研修を受けました。様々な現場を見学させていただき、そこで実際の工事で研修を受けました。そこでは、日本人の社員から親切に色々教えてもらいました。

会社に入って思うことは、日本とインドネシアでは言葉も、文化も仕事のルールも大きく異なることです。自分も皆と一緒に頑張り、その壁を乗り越えていきたい。

イクサン・シャブラン (Ikhsan Shabran)  
所属: PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA 国籍: インドネシア



私は2011年11月に日特建設に入社しました。私は、地元インドネシアの機械科の専門高校を卒業後、一度、2001年から2004年まで日本に滞在し、自動車部品会社で板金・塗装の業務に携わったことがあります。その後、インドネシアに戻り、薬液注入のエンジニアになりました。日特建設に入社後は、2年半の間、日本語学校に通わせて頂きながら、本社や現場などで、様々な研修を2年半の間受けました。2014年にインドネシアに戻り、バンドンの現場で機材のメンテナンスを担当したり、ジャカルタのMTRの現場では薬液注入の工事を担当しました。現在は、工事に使用する機材の整備を担当しています。私の希望は日特建設が地盤改良工事のトップになり、その日特建設で私が地盤改良の工事のスペシャリストになることです。

サプタ (Sapta)  
所属: ジャカルタ駐在員事務所 国籍: インドネシア



私は以前、日系の建設会社で安全担当として働いていていましたが、安全のスキルアップが可能であると思い、2016年8月に入社しました。現在は2年目です。

今のPT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAはまだ始まったばかりの成長中の会社です。私自身もまだ入社して日が浅く学ぶことがたくさんあり、勉強、勉強の日々ですが、会社と共に成長していけたらいいと思うとともに、その成長するチャンスをもらったことを嬉しく思っています。工事の専門技術はもちろん、日本の文化にも興味があり、その面でも勉強していきたい。私の業務は、工事の安全担当です。工事をさせるにあたり、事故を防ぐことは非常に大切です。私は、この分野の専門家になるように業務を行って行きます。そして事故ゼロのために頑張って行きます。

アギル・F・スマルノ (Agil F Sumarno)  
所属: PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA 国籍: インドネシア

## ● 環境方針

日特建設は、環境・防災・都市再生・維持管理関連の専門技術を得意とする総合管理力のある会社として、広く社会に貢献することを経営理念のひとつに掲げています。  
技術本部は、この経営理念に基づき、下記の事項を環境方針として定めています。

1. 技術本部は、地球環境の保全活動を事業活動の一つとして位置付け、地球環境への負荷低減を目指し、環境マネジメントシステムの改善を図るとともに継続的向上に努める。
2. 限りある資源の有効利用と環境への負荷低減に向けた資源循環社会と、人を含む地球上の生物の環境共生型社会の構築に向けた研究・開発及び設計・検討を進める。
3. 廃棄物量低減、リサイクル率向上、省資源、省エネルギー、生態系保全、景観保全、環境保全型商品利用の促進などを目指した活動を推進する。
4. 環境関連の法規制、協定書、顧客及び業界の要求事項を遵守し、環境保全に関する社会的責務を積極的に果たす。
5. 技術本部の要員への環境教育を実施し、環境保全意識の向上に努める。
6. 顧客及び地域社会との協調を図るため、必要に応じ環境方針及び環境保全活動の実施状況を公開する。

## ● ISO14001を活用した環境マネジメントシステム

当社は、1999年2月に各環境関連部署の環境管理推進委員会から構成される「環境委員会事務局」を、1999年10月に環境管理責任者を委員長とする審議機関「環境委員会」を設置し、同年11月に「日特建設株式会社技術本部環境方針」を発表しました。その後、環境マネジメントシステムの構築を図り、2000年3月、技術本部としてISO14001環境マネジメントシステムを審査登録し、現在下記の環境目的を掲げています。

1. コピー用紙の使用量を減らし、環境への負荷を低減する。
2. 一般廃棄物のリサイクル率を高めて、環境への負荷を低減する。
3. 研究・開発業務実施要領で示された適用範囲のうち、技術本部の環境目的に示した著しい環境側面（16環境側面）を有する研究開発テーマを実施する。
4. 設計・検討業務実施要領で示された適用範囲の設計・検討業務について、
 

①省エネ	②省資源
③大気質保全	④水質保全
⑤自然環境保全	⑥地盤環境の保全
⑦掘削量の削減	⑧廃棄物の削減
⑨廃棄物のリサイクル	

上記9項目に該当する場合は確実に配慮する。

## ● 環境保全効果

今年度の環境保全効果は、下表のようになりました（削減量は前年比）。  
今後も、廃棄物の削減、リサイクル率の向上に努め、環境負荷の低減に向けた取り組みを継続していきます。

効果の内容	指標の分類	単位	削減量	2016年	2015年	2014年	2013年
事業活動に投入する資源に関する効果	コピー用紙使用量	枚	16,500	135,000	161,500	227,500	163,000
	電気使用量	千kwh	▲132※	532	400	255	269
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	温室効果ガス排出量	t-co2	▲110	261	151	97	109
	産業廃棄物量	m3	102	0	102	207	85

温室効果ガス排出量算出は、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」による  
※2015～2016年度の本社移転に伴い同じフロアに他部署と同居することとなったため、フロア全体の電気使用量を用いたことにより前年比増となった。

## ● 2016年度 環境目的・目標達成状況

当社の環境マネジメントシステムは、環境への有害性評価を行いその低減を図るだけでなく、環境への間接的な有益性を評価するのが特徴です。環境に有益な工法を研究・開発、設計・検討することを通して、環境への負荷を低減する取り組みを行っています。

2016年度 環境目的・目標達成状況

管理項目	環境目標	検証方法	達成状況
事務業務	コピー用紙削減・節電・エコキャップ運動を継続。既に定着しているため特に数値目標は設定しない。	資源廃棄物管理表、エコキャップ運動推進表により検証。	【コピー用紙使用料】 H27年度162千枚 H28年度135千枚 前年比11%down
研究・開発業務	各研究・開発テーマの計画書に基づいて実施する。業務に際しては、著しい環境側面（有害性）に配慮して、周辺環境への影響を最小限に留めるものとする。	研究開発進捗管理表により検証。埼玉試験所の状況を現地確認。	環境に大きな影響を与えるような現象は発生していない。
設計・検討業務	環境・防災・都市再生・維持管理等の専門技術を活かした設計・検討をする。設計・検討案件の帳票入力および帳票の利用を定着させるため、技術営業部、設計部で設計・検討した案件の帳票入力100%を目標とする。	専用の技術営業管理システムの設計帳票により検証。	設計・検討した案件は確実に実施している。

# 社会貢献 -1



日特建設は、社会から信頼される企業を目指し、様々な社会貢献活動を推進しています。その中から主なものをご紹介します。

## ● 災害復旧・救援活動

地域市民の方々に当社の事業を理解していただくために、現場見学会等を各地で開催しています。



■東京支店 人名救助にて感謝状（東京都 2016年8月）  
隅田川（白鬚橋下流）右岸防潮堤耐震補強工事（その2）では、護岸の地盤改良工事を行うに当たり、船を使い河川側より施工を行っていました。隅田川を運行する他船の安全を確保するため、警戒船を運航させていました。8月に、近くの橋から川に人が転落したことから、すぐに警戒船の船員2人が川に転落した男性を救助し、無事に保護することができました。この救助により、東京消防庁から感謝状をいただきました。



■東京支店 台風災害の復旧活動（群馬県 2016年9月）  
9月7日未明、台風13号の接近に伴う大雨により、当社が施工中であったH27南郷床固群法面対策工事の近隣の柿平地区で土石流が発生しました。  
現場には緊急用資材として大型土嚢、スコップ等を常備していたこと、また、更にかなり強い雨になる予報であったことから、災害前日にバックホウをそなえていました。このため、当社は土石流に伴う災害復旧の手伝いに迅速に対応することができました。当社の働きに対し南郷代表区長および国交省利根川水系砂防事務所から感謝状をいただきました。



■九州支店 民家の家屋の屋根シート張り工（熊本県 2016年4月）  
4月16日に発生した熊本地震（本震）では益城町に、大きな被害がでました。そこで熊本営業所の所属員と協力会社の11名が益城町へ向かい災害復旧のボランティア活動を行いました。  
主な作業は、地震により瓦の落ちた民家の家屋の屋根へブルーシートを張っていくことや、家人の方と一緒に屋内の片付けを手伝うことでした。この活動によって被災された方々に感謝していただくことができました。

## ● 現場見学会



■大阪支店 橋梁補修工事 体験学習（高知県 2016年7月）  
高知県の吾川郡の佐川管内橋梁補修工事では、現場近隣の小学生に橋梁補修工事について学習していただきました。初めに橋梁補修工事がなぜ必要かということや、工事の概要などを説明し、その後、実際に小学校の校庭にある遊具で塗替塗装を体験学習してもらいました。生徒の皆さんには一生懸命話をきいてもらい、また遊具の塗装体験も楽しんで行ってもらうことができ、校長先生からは、貴重な体験学習を実施する機会を提供していただいたことによる感謝状をいただき、生徒たちには建設業を身近に感じてもらうことができました。

## ● 地域貢献

当社では、現場周辺の住民の方々や地域への貢献活動も積極的に推進しています。

### ■東北支店 海岸防災林再生メンテナンス活動（宮城県 2016年4月）



東北支店では、一昨年、昨年と植樹を行った東北森林管理局募集の千年希望の丘整備の活動に本年も参加し、宮城県名取市の海岸防災林再生地で植樹後のメンテナンスを行いました。今回は、社員8人が参加し、約1,000㎡の植樹エリアの範囲で、枯れた苗木を取り除き、新たな苗木に植え替えるなどの整備をしました。当社では、今後も防災林の植樹・メンテナンス活動に続けて参加し、元のような防災林に成長する姿を見守り続けます。

### ■東北支店 第10回富沢市民センターまつり 駐車場誘導活動（宮城県 2016年10月）



東北支店に隣接する富沢市民センターで行われた、富沢市民センター祭りに今年も協力させていただくことができました。来場者の方々に、当社の駐車場（20台分）を提供し駐車場として活用いただきました。  
また、駐車場では当社の社員が誘導や案内を行うことで、日頃お世話になっている近隣の方々に対し、少しお役にたてること出来たのではないかと思います。

### ■北陸支店 「金の道復活」旧道整備活動（新潟県 2016年5月）



北陸支店では、「佐渡を世界遺産にする会」主催の佐渡市田切須～西三川の旧道の整備活動に参加しました。当日は、佐渡営業所の社員3名で、草刈り、枝払い、伐根等を行いました。地元の方々と一緒に、作業することができ、楽しいひと時を過ごすことができました。  
今後も、機会を見つけて、地元の街並みを整備する活動に参加し、地元の方々と共に、「佐渡を世界遺産にする会」の活動に参加していきたいと考えています。

### ■北陸支店 ECHIGO 棚田サポーター（新潟県 2016年5月～11月）



ECHIGO 棚田サポーターとは、棚田を愛し、地域の方々と一緒に棚田を守るため、新潟県にある県農地部職員を中心に結成されたグループです。その目的に賛同した北陸支店の有志は、今年も新潟県各地の棚田の草刈り、清掃に協力しました。2016年度は、5月から11月にかけて計15回、延べ25名が参加しました。

- 【主な活動内容】
- ①村上市、松沢地区 草刈り、環境整備・・・ 3回
  - ②長岡市池谷地区他 草刈り・・・ 2回
  - ③十日町市、枯木又、三ツ山地区 草刈り・・・ 2回

## 地域貢献

当社では、現場周辺の住民の方々や地域への貢献活動についても積極的に推進しています。



■大阪支店 「榎石百々手祭り」に参加（香川県 2017年1月）  
 工事の施工場所のある榎石島では毎年1月に伝統的なお祭り「榎石百々手祭（ひつしももてまつり）」（400～500年前より伝わる伝統的なお祭りであり、香川県無形民俗文化財として登録）が開催されています。そこで、前日から行われているお祭りの準備や神社内の清掃に参加するとともに、地元からの要望をうけ、射手としてもお祭りに参加して楽しく過ごさせていただきました。お祭り終了後は、島民の方々から感謝のお言葉を頂くとともに、工事期間中は地元の方々から挨拶していただくなど親睦を深めることができました。



■広島支店 山口県防災・砂防ボランティア協会に  
 おける砂防施設点検活動（山口県 2016年11月）  
 土砂災害を未然に防ぐことを目的として、毎年行われている防災・砂防ボランティア協会による砂防施設点検活動に今年も参加しました。点検活動は、山口県土木建築部砂防課と協力し、県内の土砂災害危険箇所である急傾斜地や地すべり防止区域、そして砂防施設などで実施しました。  
 今回も協会関係者の方など5人と、山口県内の砂防ダムを3～5名のグループに分かれて点検を行いました。今回の点検では、大きなひび割れなどの発見はありませんでしたが、砂防施設の安全の確認に協力できました。



■九州支店 宮浦地区道路防災工事2  
 における砂防施設点検活動（山口県 2016年11月）  
 当現場事務所にはAED（自動体外式除細動器）が設置してあります。そのため、いざというときに、近隣や通行者の方々のお役に立つため、地元消防署の主催するAEDの使用講習に作業員全員で参加しました。  
 当日は、地元の方々の参加者と共に消防署の講師から説明を聞き、実際にAEDの使い方を学ぶことができました。これで作業員を含めた現場事務所の全員がAEDを使用できるようになりました。

## 清掃活動等

現場周辺や支店周辺の清掃活動を積極的に行っています。



■大阪支店 榎石島での清掃活動への参加（香川県 2016年6月）  
 榎石島（ひつしじま）で定期的に行われている清掃活動に発注者職員の皆様とともに社員3名で参加しました。当日は地元の方々とともに島内にある公園などの清掃活動を行いました。この清掃活動を通して円滑なコミュニケーションを図られました。この清掃活動は島内で行われる度に参加しているため地元の方々とは既に顔なじみになっており、終了後は感謝のお言葉を頂くとともに、次回も「またよろしくね」と言ってもらえることができました。もちろん参加予定です。



■東北支店 道路清掃活動（青森県 2016年10月）  
 青森県のジオファイバー協会の会員企業の皆様と一緒に、県道27号線（青森浪岡間）朝日山～王余魚間の約7kmの清掃活動を行いました。当日は、青森県のジオファイバー協会の会員の社員の皆様と、青森営業所の20名が参加して、道路沿いのゴミを拾いました。7kmの道のりの清掃活動でしたので、写真のように多くのゴミを集めることができました。最後に、集めたゴミでいっぱいになった袋を前に記念撮影です。地元のクリーンアップに少しでも貢献できたのではないかと思います。



■広島支店 筒地地区安全協議会主催  
 ：地元筒地神社の秋祭り前清掃（鳥取県 2016年10月）  
 鳥取県の湯梨浜町筒地地区安全協議会で、地元の秋祭り前の神社清掃を行いました。当日は、地元の方々の案内で、神社の社殿、境内の清掃や神社が接する県道の清掃活動を安全協議会のメンバーと当社の社員で行いました。日頃、神社の社殿など立ち入ることのできない場所に入れてもらい、うれしく思うと共に、身を引き締めて清掃活動を行いました。この活動を通じて周辺地域の美化に貢献できたのではないかと思います。また、この清掃活動の様子は、地元の工業新聞にも掲載していただきました。

## 学生の企業訪問・次世代育成

当社は、インターンシップや企業訪問など、建設業界への理解を深めていただけるよう、学生の受け入れや、説明会を随時を行っています。



■名古屋支店インターンシップ研修生による現場立会（岐阜県 2016年9月）  
 公共道路災害防除施設（国補正分）工事でインターンシップの研修生を受け入れました。  
 岐阜県下呂土木事務所のインターンシップ研修生を現場を案内し、落石対策工事の施工状況を実際に見学してもらうとともに、工事の目的や施工方法などの説明を行いました。また、建設会社としての仕事内容等について、研修生から数多く質問をいただき、その回答を現場で行いました。



■高校生の体験学習（東京都 2016年12月）  
 今年も高校生の体験学習として行われている企業訪問について、鹿児島中央高等学校の学生7名の受け入れを行いました。初めに会社内を案内し、社員が実際に働いている事務所や役員室などを見学していただきました。  
 続く説明会では、はじめに建設業界全体についての説明の後、当社の施工技術や工法について、模型を使って説明しました。実際の模型を使った説明では、熱心に関心を持って見ていただけました。当社では、今後も続けて、学生の皆様の体験学習である企業訪問を、定期的な受け入れしていきます。